

1面から続く



小学生（逆瀬台小学校）

逆瀬台小放課後遊ぼう会
神光代表・本杉 副代表
「子供達が安心して自由に遊べる環境づくり」



私は昨年5月より、市内何校かで行われている「放課後遊ぼう会」に参加し活動を始めました。現在24名のボランティアがあり、遊びの全般をサポートして下さるブレイダー2名とボランティアスタッフ3名と共に週1回のペースで子ども達の遊び場を提供しています。

毎回全校生徒の1/4である80名程度、多いときは百名を超える生徒が参加し、和室では宿題をしたり、折り紙、オセロ等の室内遊び、運動場では手打ち野球や、ドッジボール、砂場遊びやコマ引き車等、それぞれ思い思いの遊びをしています。時には大工遊びやダンボールの基地作りなど普段出来ない遊びも取り入れています。逆瀬台小学校区は自然豊かでも、外で子ども達が遊ぶ姿があまり見られません。子どもの数が少なく、また習い事等で遊ぶ友達が見つからない、公園へ行っても誰も遊んでいない、また人通りが少なく子ども達だけでは不安・・・そんな理由からどうしても家の中やゲームで遊ぶことが多くなります。けれど私達の子どもの頃、暗くなるまで思い切り遊んだように、子ども達にも外で遊ぶ楽しさを知ってほしいと思っています。

そんな時、「放課後遊ぼう会」の存在を知り、ぜひ逆瀬台小学校でも行えたらと思われました。逆瀬台小学校はとも恵まれており、学校、地域の方がとても協力的で時には一緒に遊んでくださったり、下校時も育成会の子も達と共に見守り隊の方が暖かく見守ってくださっています。

始めた頃は遊びなれていなかったせいか、どう遊んでいいかわからなかった子ども達も回を重ねるごとに自分たちで遊びを作り出し、毎回来しみにしてくれています。小さなケガやけんかもありますが、そんな経験を繰り返すことにより、大きなケガを防ぎ、自分たちで解決する力を身につけていくと思います。

子どもには遊びは欠かせません。これからも少しでも多く続けて行きたいと思っています。市から補助金を頂くことにより、ブレイダーに来て頂くことが出来て、私達ボランティアの負担も軽く気軽に関わることが出来ています。これからも子ども達の遊び場をなくさないようにご尽力いただければと思います。

逆瀬台小学校5年生
中さん、中子さん、北川さん
「森と私たち」
私たち、逆瀬台小学校の生徒は、学校から3年生の時に年に2回、4



年生の時にも年に2回、地域のおじさん達の集まりの「櫻守の会」の方々に学校の裏山探検や武田尾の森づくりに連れて行って頂きました。

5人1組の13班に分かれ、各班には1人ずつ「櫻守の会」のおじさんが加わって下さいます。森では色々な体験また自然を見学する事ができました。次の事項を説明します。

自然発見 1、2、3
体験談 1、2、3
自然発見 くるもじの実 ナツグミの実 ヤマモモ ガマズミ
また、5年生になった今年はバードウォッチングにも連れて行って頂きました。

逆瀬台小学校ゆずりは会
安川 会長・中田 副会長
「和やかに、ゆずり葉まつり」
「スポーツを通して子供達の健全な心と体を作るためにできる親の行動」「グリーン活動」
「子供達の登下校時の安全確保（豪雨時の水路橋での危険）」

平成20年10月18日（土）逆瀬台小学校運動場で、ゆずりは会主催「ゆずり葉まつり」が行われました。



ゆずり葉コミュニケーションのご協力のもと、子供達の大人気のアイスクリーム、わたがし、あたたかい大根だきやおもちつき、と楽しさ満点。昔遊び、西谷の野菜は大人気で、きれいな花市も出されます。育成会のクッキーは今年完売となり地域の理解の高さがうかがえます。

当日は1000人以上の来校となり、笑い声や歓声が甲山まで響きそうな程、にぎやかな一日となりました。

逆瀬台小学校では、スポーツクラブ21のもと野球・サッカー・テニス・空手を子供たちがスポーツ活動に励んでおります。親の目線で見ますと、ボランティアで活動して頂いている指導者、コーチの方々の協力で活動が続けられているのだと思います。

スポーツを通じて、友情やチームワーク、集団行動又は活動を覚える事ができます。その中で、勝負喜び、負ける悔しさを覚え努力する事が大事だという事を考えた、学べたりする事もスポーツの醍醐味だと思います。

保護者たちは、チームマネージャーを筆頭子供たちが集中して練習や試合が行える様に色々な手伝いをしていきます。日々、子供たちの成長を見られるのも親としての楽しみの一つになっています。これからも、子供たちの活動を見守っていきたく思っております。



地域課題II

「拠点施設有効活用に伴う施設の充実」

- ① 逆瀬台デイサービスセンターの入口ゲート確保
- ② 駐車場の新設及び照明器具の取付

中山 ゆずり葉コミュニケーション 活動局長

★現状の問題点



- ① 拠点施設の出入り口は逆瀬台デイサービスセンターからであるが、門扉には暗証番号による施錠がされておりコミュニケーション会長と逆瀬台自治会長だけが開錠するのは拠点施設運用からも実質上不可。
- ② デイサービスセンターの2階は市民の交流広場でありながらNPOは使用できない。
- ③ 3箇所出入り口は暗く鍵穴が分からない。
- ④ 逆瀬台小学校は急な坂道の頂上であり、広域活動上自動車が必要不可欠であるにもかかわらず駐車場がない。
- ⑤ 逆瀬台小学校に行く途中の道路は、入口部で道路幅の1/2が、残り1/2は夜から朝までバリケードで封鎖されている。
- ⑥ 逆瀬台小学校の夜間進入禁止の看板は、固定のバリケード
- ⑦ 夜間のバリケード

を更に一層有効活用するため、周辺の環境条件の充実 例えは必要最低限の駐車場新設や出入り口等の整備を行う。」と提案している。

★協議・要望事項

- ① 逆瀬台デイサービスセンター門扉の鍵は、通常の鍵をつくり「ゆずり葉コミュニケーション拠点施設運営規約」により運用する。
- ② 逆瀬台デイサービスセンターではNPOの使用不可。①と②の観点から平成18年10月役員会で提案された『旧逆瀬台幼稚園施設使用者協議会（仮称）設立の呼び掛け』を市が認可する。
- ③ 3箇所の出入り口は、暗いので照明器具を取付ける（既存のポールや壁を利用する）。
- ④ 小学校に沿った130m程の水路上にグレイチングを置くか、暗渠にして駐車場にする。
- ⑤ 道路を封鎖しているガードレールやバリケードは、門扉の役割をしており、これを境界に逆瀬台デイサービスセンターの行き止まりまでを道路指定から学校敷地として用途変更をする。

みんなで知恵と工夫をだそう!! 資源の有効活用を!!
道路指定から学校敷地への用途変更を要望しました。



固定のバリケード

夜間のバリケード